

令和4年9月16日 避難訓練②

新しい学年になって、2回目の避難訓練です。

1回目は雨だったので、実際に外へ避難したのは、初めてですね。

教頭先生の非難しなさいという放送から、全校児童がここに集まって人数確認をするまで、6分10秒でした。素早く非難できたのは、とても立派でしたね。

でも、「おかしも」の約束は、どうだったでしょう。守れましたか？

1回目の訓練の時の校長先生が皆さんに、「避難訓練は、100点満点を目指してください」とお話ししたのを覚えていますか？

算数のテストでは、90点・95点は「よくできた」と喜べるが、命を守る訓練では、マイナス5点、マイナス10点の「ちょっとだけできなかった」が、実際に地震や火事が起こった時に、けがをしたり、命を落としたりすることにつながります。

ちょっと走っただけなのに、階段で転んで大けが。

ちょっと友達とおしゃべりしただけなのに、担任の先生の大事な指示を聞き逃して、逃げ道がわからなくなってしまった。

そんなことのないように、訓練では、常に真剣に取り組み、100点満点を目指してください。

さて、この間9月1日に、引き渡し訓練を行いました。大地震などの大災害が起こった時に、おうちの方に皆さんを安全に引き渡すための訓練でした。

なぜ、9月1日に実施したのか、高学年の皆さんならわかりますね。

9月1日は、「防災の日」です。今から99年前の1923年9月1日、午前11時58分に関東地方を大地震が襲いました。約10万人もの方が、建物の下敷きになったり、火事に巻き込まれたりして亡くなりました。市川市の人口が約50万人ですから、どれだけ多くの被害が出たのか想像できますね。そこで、この日を忘れず、国民みんなで災害から身を守り、被害を少なくすることを目的に、1960年に防災の日ができ、全国開智で防災訓練が行われているのです。

どうしたら、大地震などの災害から身を守ることができるか、みんなで考えて実行していきたいですね。6年生では、総合的な学習の時間で、防災について探究学習をしていますね。

地震はいつ起こるかわかりません。」

科学技術がこれだけ発達しても、いつ起こるのかを正確に予測することは難しいのです。

だからこそ、日ごろの心がけと訓練が大切ですね。

今日の避難訓練を教室でも担任の先生と一緒に振り返ってみてください。